Design Spot 250

取扱説明書

Ver1.02

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は ELATION Design Spot 250 をご購入頂き、誠にありがとうございます。
Design Spot 250 は DMX 規格に対応しており、DMX コントローラーで操作することが可能です。
Design Spot 250 の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また、本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

ディスチャージ・ランプに関する注意

本製品に搭載されたディスチャージ・ランプは非常に破損しやすい為、取扱いには十分ご注意下さい。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります。手が触れた場合はやわらかい布で電球の表面をふき取って下さい。また衝撃などにより電球内のフィラメントが切れることがありますので、取扱いにはご注意下さい。

ディスチャージ・ランプは非常に強い紫外線を発光します。極度の輝度は網膜を痛める可能性があります。保護カバーは紫外線の放射を遮断する為に特別にデザインされていますので、保護カバーなしで本製品を絶対に使用しないで下さい。

注：ディスチャージ・ランプを直接見ることは絶対に避けて下さい。

本体電源のオン/オフを短い時間に連続して行うとランプの寿命が縮まりますのでお止め下さい。再度使用する場合は 5 分以上クールダウンをしてから電源を入れご使用下さい。

照度を保つ為に、ディスチャージ・ランプは高圧で圧縮されたガスが使用されています。その為、長期に渡り使用した場合、ランプが破裂する恐れがあります。このリスクはランプが古くなるにつれ増加し、更なる注意が必要になります。ガスを使用したディスチャージ・ランプが装填されている製品を使用する際にはくれぐれもご注意下さい。また、使用中に本体を開けることは危険ですのでお止め下さい。

安全上のご注意

Design Spot 250 は精密電子機器です。本製品を安定してお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読み下さい。

- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはお止め下さい。
- アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外してから行って下さい。
- メンテナンス以外の目的において本体のカバーを外さないで下さい。
- 必ず風通しの良い天井、壁から約 15 センチ以上離れた場所に設置して下さい。
- 本体に損傷がある場合は使用を止めて下さい。
- 本製品を天井から吊るす場合、必ずセーフティーケーブルおよび対応クランプを使用して設置して下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 電源ケーブルはかならずプラグをもって抜き差しして下さい。
- 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。

本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせ下さい。
メンテナンス以外の目的において、無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

基本仕様

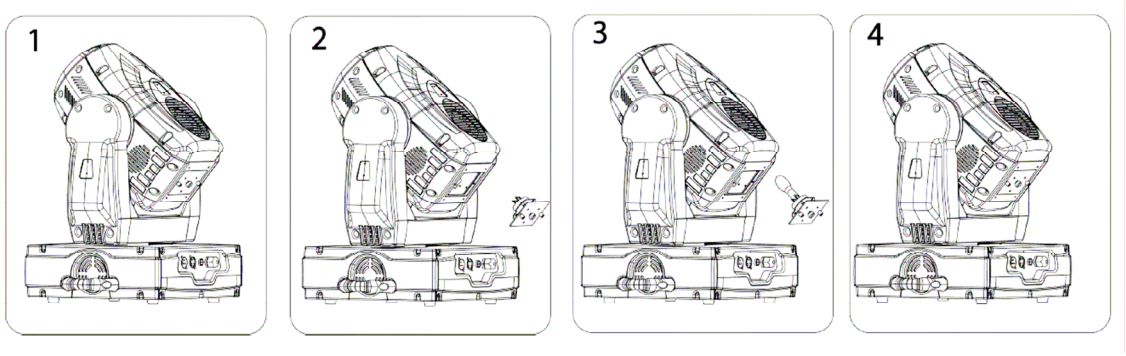
- 630 度もしくは 540 度の範囲でパン(X 横軸)を、265 度の範囲でチルト(Y 縦軸)を操作可能。
- DMX、スタンドアローン、サウンドアクティブの 3 つのモードで操作可能
- UV フィルターを含む 8 色+白（2 方向レインボーエフェクト搭載）
- カラーチェンジャー機能（モード 1：フルカラー、モード 2：スプリットカラー）
- 回転ゴボホイールに 7 つの回転ゴボを搭載
- 固定ゴボホイールに 7 つの固定ゴボを搭載
- ストロボ機能：0～13 フラッシュ/秒、ランダム
- プリズム回転機能（16 プリズムマクロ搭載）
- Philips MSD 250/2 使用（250w/8500K/3000Hrs/1,8000Lm）
- ディマー操作範囲：0～100%
- 4 桁表示のディスプレイとキーボードを搭載
- 180° 回転表記が可能なデジタルディスプレイ
- 各種 DMX コンソールからリモートで DMX アドレス設定が可能
- 全ての機能に対するオートテスト機能
- 自動パン/チルト修正機能
- パルスエフェクトつきビルトイン・アイリス（5%-100%）
- ダイクロリフレクターで均一な光を出力可能
- 反射防止コーティングレンズ
- USITT DMX-512 対応
- デジタルディスプレイに DMX チャンネル値を表示
- DMX 制御でのフォーカス機能
- 8 つのプリセットプログラムを内蔵
- フロントコントロールパネル、又は外部コントローラーによって最大 48 シーンの編集・保存が可能、保存したプログラムはフロントコントロールパネルの RUN メニューを使って再生可能

電球の取り付け

電球の交換方法

電球を交換する前にまず電源を切り、電球の熱が冷めたことを確認して下さい。

取り付け手順



1. 背面を下に向けて本体を置き、ボトムプレート上の A、B と表示されたネジ 2 本を外してください。
2. ソケットホルダーをゆっくり取り出して下さい。
3. セラミックベース部を持って、慎重に古い電球を外してください。
4. ソケットに電球を取り付けます。必ず Philips MSD250/2 GY9.5 ランプを使用してください。電球を取り付ける方向は一定となります。
5. ソケットにランプを取り付け後、ソケットホルダーを元の位置に戻し、ネジを締めて固定して下さい。
6. ランプ交換が終わったら必ずランプの位置調整を行ってください。

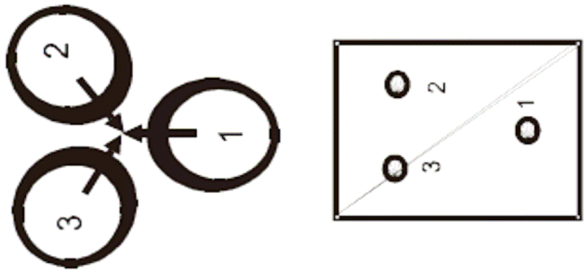
ランプ位置の微調整

ランプを交換する度にランプ位置を微調整する必要があります。これはランプをリフレクターの中央部に位置付けるもので、正しく調整する事で電球の寿命を延ばし、灯体もより明るく鮮明に出力されるようになります。逆にこの調整を正しく行わないと、光が黄ばみ、輝度が低くなります。最低偏差は 1.0mm です。それ以下の偏差で灯体を使用した場合、ランプ/レンズにダメージを与えることがあります。

Design Spot 250 は出荷時にランプホルダーの位置調整を行っていますが、ランプには固体差が

あるため、細かく調整をする事によって灯体のパフォーマンスが高まることがあります。以下の手順で正しいランプ位置調整を行ってください。

1. DMX コントローラー、もしくは本機コントロールパネルを使ってランプを点灯させ、光を平らな面に合わせます。(シャッターオープンの状態に設定します)
2. 下記の図にあるように、1、2、3 と表記された3つの調整ネジを使って、ホットスポット(ビームの最も明るい箇所)を中央にあわせます。ネジを一つずつ回して、投影された映像上でホットスポットを対角線上に動かしていきます。もしホットスポットが判らなければ、光が均一になるまでランプを調節します。
3. ホットスポットが明るすぎる場合は、光が均等に出力されるまで3つのネジを一つずつ、時計回りに 1/4 回転ずつ締めていきます。
4. 端の方が中央部よりも明るい、もしくは光の出力が低いようであれば、ランプはリフレクター後方部に位置していることになります。各ネジを反時計回りに回すことによってランプを押し出し、ライトが十分明るく、均一に出力されるようにします。

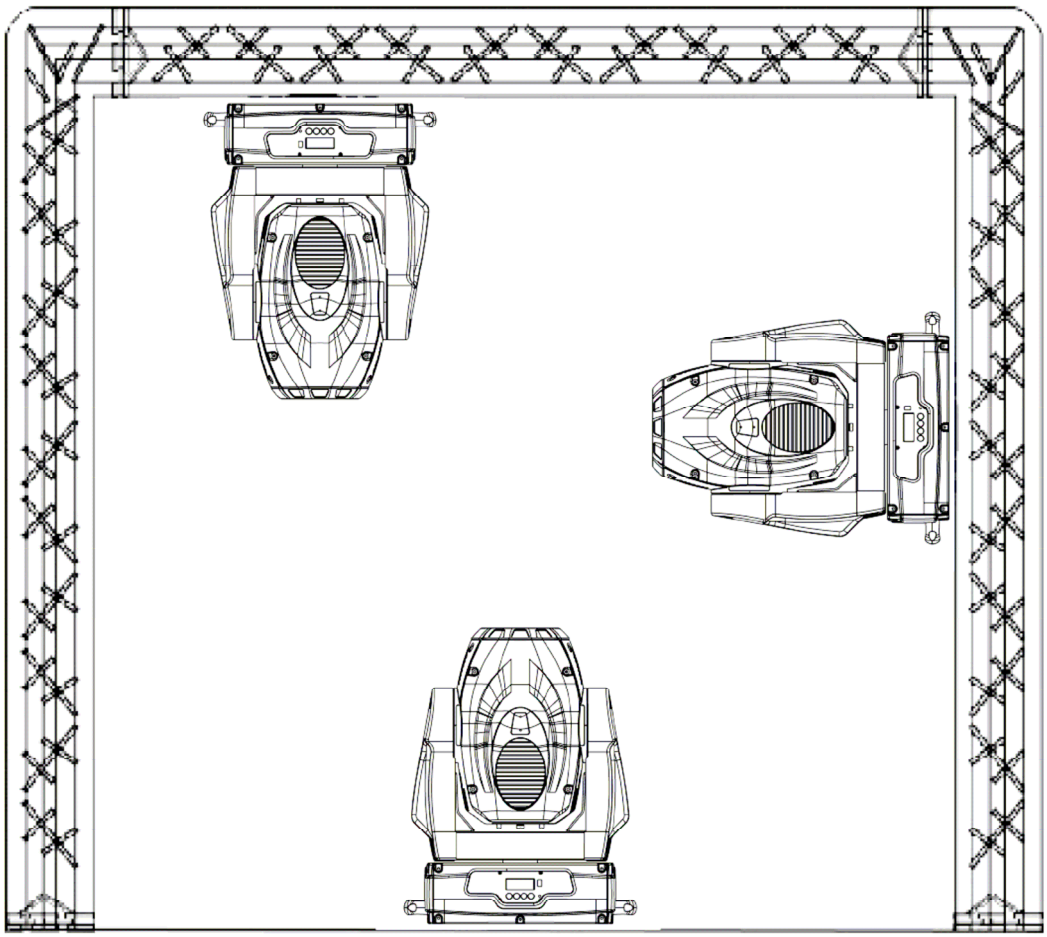


※MSD 250/2 は瞬時再点灯タイプではありません。一度電源をオフにした場合、再度点灯させるまでは 15 分ほどの時間が必要になります。この間は電源をいれても点灯しません。

本体の設置方法

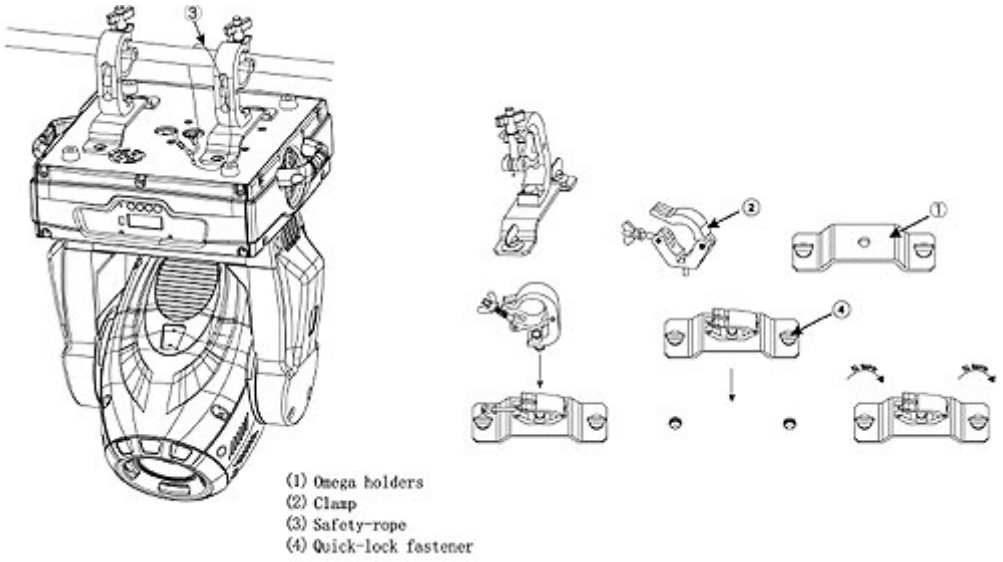
いかなる場所に設置する際も、設置面が Design Spot 250 の最低 10 倍の荷重に耐えうることを確認してください。またセーフティーケーブルを使って、2 次的な安全を確保してください。灯体の設置時、及び撤去時には絶対に真下に立たないようにしてください。

Design Spot 250 の設置は天井からの吊り下げ、側面への取り付け、そして平面での設置と、3つの方法があります。（以下の図を参照してください。）設置時、装飾用具等の可燃物からは最低 0.5 メートルの距離を置くように注意して下さい。



クランプを使用した設置方法

Design Spot 250 はハンギングブラケットとセーフティーワイヤー取り付け部を一つのユニットにまとめた特殊な機構を用いています。トラスに取り付ける際は適切な耐荷重量のクランプで M10 ネジを使ってブラケットに接続します。より高い安全性を確保する為、適切な耐荷重量のセーフティーケーブルで固定してください。セーフティーケーブルはブラケットのワイヤー取り付け部につなぎます。決して持ち運び用のハンドルには取り付けないでください。



(1) オメガホルダー
(2) クランプ
(3) セーフティーケーブル
(4) クイック・ロック金具

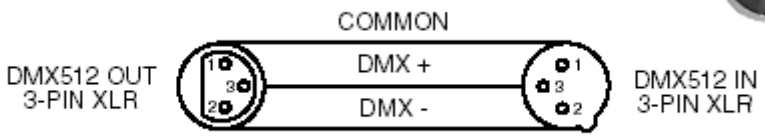
DMX について

DMX-512

DMX は照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の“DATA IN”、“DATA OUT”端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX ケーブル

Design Spot250 は DMX に対応しています。DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は XLR 仕様のケーブルを使用し行います。DMX ケーブルを作る際はデジタルケーブルを使用して下さい。DMX ケーブルを作る際、以下の図を参照して下さい。



お手持ちの XLR ケーブルをコントローラーの XLR メス出力端子に接続し、もう片方を灯体の XLR オス入力端子に接続します。直列接続することにより複数の灯体をつなぐ事が可能です。（DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続して下さい。）

5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを Design Spot250 に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

DMX スタートアドレスの選択

DMX 信号によって灯体をコントロールするには全ての灯体にそれぞれ DMX スタートアドレスを設定する必要があります。スタートアドレスの設定は本体のディスプレイ上で行うことが可能です。

接続した全ての灯体、もしくはそのうちの数台に同じアドレスを設定することができます、もしくは全ての灯体に異なるアドレスを設定することも可能です。全ての灯体に同じ DMX アドレスを設定した場合、全ての灯体を同じ方法で操作することが可能です。つまり、一つのチャンネルの設定を変更すると全ての灯体の設定が同時に変更されます。

全ての灯体に異なる DMX アドレスを設定した場合、それぞれの灯体が DMX チャンネルの数に基づいて設定されたチャンネルナンバーに反応して動作します。つまり、1 つのチャンネルの設定を変更すると、選択された一部の灯体のみが変更されます。

16 チャンネルを持つ Design Spot250 の場合、1 台目の DMX スタートアドレスを 1 に、2 台目を 17（16+1）、3 台目を 33（16+17）・・・という様に設定します。

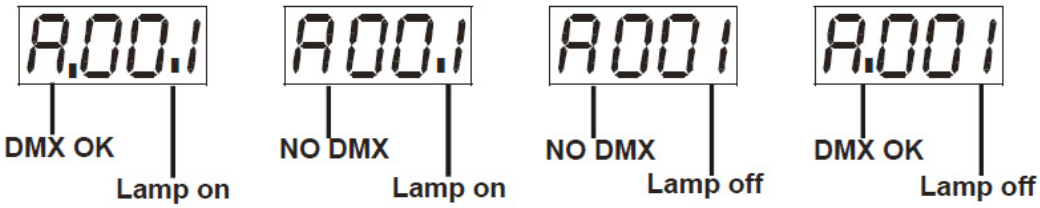
Design Spot250 の電源を入れると、DMX 信号が受信されているかどうか、自動的に感知します。DMX 信号が受信されている時は、ディスプレイ上に『A XXX』（XXX は DMX アドレス)と表示され、受信されていない時は、『A XXX』の表記が点滅します。

灯体が DMX コントローラーに接続されており、DMX 信号を受信していない時（ディスプレイが点滅している時）は以下の項目をチェックしてください。

-XLR コネクターが DMX 入力端子にしっかり接続されているか確認してください。
-DMX コントローラーの電源がオンになっているか確認してください。
-DMX ケーブル、コネクターに不良が無いか確認してください。
-ターミネーターが接続されているか確認してください。

ディスプレイ LED

Design Spot250 はディスプレイ上に 2 つの LED インジケーターを備えています。以下の図に示すように、これらのインジケーターによって灯体のステータスを簡単に把握する事ができます。



1 つ目の LED の点は DMX 信号受信の有無を表します。
・インジケーターが ON の時は DMX 信号を受信しています。
・インジケーターが OFF の時は DMX 信号を受信していません。

2 つ目の LED の点はランプの ON/OFF の状態を表します。
・インジケーターが ON の時はランプが点灯し、操作可能な状態を表します。
・インジケーターが OFF の時はランプが点灯していない状態を表します。

メインメニュー

オンボードシステムメニュー
以下に示す各システムメニューで簡単に Design Spot250 を操作することが出来ます。

LED コントロールパネル
本体上部に搭載されたコントロールパネルでメインメニューにアクセスし、Design Spot250 に必要な全ての設定をする事ができます。通常の操作中に MODE/ESC ボタンを一度押すと、メインメニューに入ります。メインメニューでは UP/DOWN ボタンを使ってサブメニューを検索することができます。設定が必要な項目を選んで ENTER ボタンを押すと、UP/DOWN ボタンでその設定を変更する事が出来ます。再度ENTERボタンを押すと変更した設定内容を確定します。設定が保存されると、LED が"PASS"と表示し、設定内容が変更された事を表します。EXIT ボタンを押すとメインメニューを終了します。

MODE/ESC ボタン
メインメニューにアクセスするには本体前面部の MODE/ESC ボタンを使用します。また、このボタンを押すことで各システムメニューを起動します。UP ボタンを使って変更したい機能を表示させ、ENTER を押してメニューを選択します。画面の表示が点滅したら、UP/DOWN ボタンを使って機能を変更します。変更後、再度 ENTER を教えて変更をシステムメニュー中に保存します。特に変更しないでメインメニューに戻るには MODE/ESC ボタンを押してください。

ADDR	AXXX A001			DMX スタートアドレスの表示
TEST	T01－T-XX			全機能の自動テストプログラム
PLAY	RUN	MSTR/ALON		灯体をオートのマスター/アローンに設定
	AUDI	MSTR/ALON		灯体をオーディオのマスター/アローンに設定
	AUTO	OFF/RUN/AUDI		DMX を使用しない設定
LAMP	ON/OFF			電球 ON/OFF の手動切替
RESE	ALL			全モーターをデフォルトに設定
	SCAN			パン/チルト用モーターをデフォルトに設定
	COLR			カラー用モーターをデフォルトに設定
	GOBO			回転ゴボ用モーターをデフォルトに設定
	SHTR			シャッター/ディマー用モーターをデフォルトに設定
	OTHR			その他モーターのリセット
TIME	LIFE	0000－9999		フィクスチャーの稼働時間表示
	LAMP	0000－9999		電球稼働時間の表示
	CLMP			電球稼働時間のリセット
RPAN	ON/OFF			リバース PAN 動作
RTLT	ON/OFF			リバース TILT 動作
FINE	ON/OFF			16bit/8bit の切替
DEGR	630/540			パン角度調整
MIC	M-XX M-70			マイクの感度調整
DISP	VALU	D-XX　D-00(DXXX)		各チャンネルの DMX 値を表示
	D ON	ON/OFF		2 分後にディスプレイが消灯
	FLIP	ON/OFF		ディスプレイを 180° 回転
SPEC	LAAU	ON/OFF		電源をオンにすると電球が自動点灯
	RDMX	ON/OFF		外部コントローラーによる DMX アドレスの変更
	DLOF	ON/OFF		DMX による電球のオン/オフ切替
	DLAY	D-XX D-15		電球のディレイタイム
	SPOT	ON/OFF		電球位置の調整
	DFSE	ON/OFF		全ての灯体機能をデフォルトに設定
	FEED	ON/OFF		パン/チルトのフィードバック(エラー修正機能)
	FANS	HIGH/AUTO		ファンのモード選択
	VER	V1.0－V9.9		ソフトウェアバージョン
	ADJU	CODE	CXXX	エフェクトホイールのキャリブレーション
		CH01-CH30	XXXX(-127～127)	チャンネルの選択
EDIT	STEP	S-01－S-48		プログラムのステップ数を設定
	SCXX	C-01～C-30	01XX (00－FFH)	各シーンのチャンネルを編集
			30XX (00－FFH)	
		TIME	TXXX (01－FFH)	各シーンの再生時間
		CEDT	ON/OFF	コントローラーによるプログラムの編集
	REC	RE.XX		オートセーブ
	RUN	ON/OFF		プログラムテスト

各メニューの機能

ADDRESS メニュー

A001-A511：DMX アドレスを設定します。

DMX アドレスの設定/変更

Design Spot250 の電源を入れると、現在灯体に設定されている DMX アドレスがディスプレイに表示されます。DMX 信号が受信されていないと、ディスプレイが継続して点滅します。以下の方法で DMX アドレスを設定・変更します。

1. 本体の電源を入れ、リセット処理が完了するまで待ちます。
2. MODE/ESC ボタンを押し、メインメニューに入ります。ディスプレイ上に A001 と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTTER ボタンで DMX アドレスを変更します。3 桁の DMX アドレスが点滅します。
3. DMX アドレスが点滅している間に UP/DOWN ボタンを押し、使用したいアドレスを選択します。選択後、再度 ENTER ボタンを押すと新しいアドレスをメモリーに保存します。新しいアドレスが保存されると、LED が”PASS”と表示します。

保存した DMX アドレスは本体のスイッチを OFF にしてもメモリーに記憶され、内部電源によって保持されます。

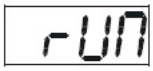
TEST メニュー

T-01ーT-XX：各チャンネルの機能をテストします。16 チャンネルのうち
チャンネル 7、11、15 を除いたチャンネルをテストすることが可能です。

1. メインメニューにアクセスします。
2. TEST と表示されるまで UP ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイ上に T-01 と表示させ、UP ボタンを押してテストしたいチャンネルを選択します。例えば T-03 を選択すると一色ずつ色を変えながら、異なる速さでレインボーエフェクトを表示、カラーチャンネルをテストします。
4. EXIT もしくは MODE/ENTER ボタンを押してメインメニューに戻ります。

PLAY メニュー

RUN



MASTER/SLAVE 及びスタンドアローンモードでプリセットのプログラムを再生します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して RUN と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して RUN と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. MASTER か ALONE を選択し、再度 ENTER ボタンを押します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

AUDI

MASTER/SLAVE 及びスタンドアローンモードの AUDIO モードでプリセットのプログラムを再生します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して PLAY と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して AUDI と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. MASTER か ALONE を選択し、再度 ENTER ボタンを押します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

AUTO

スタンドアローンモード時、DMX 信号を受信していない状態で使用します。

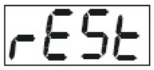
1. メインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して PLAY と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して AUTO と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. OFF /RUN/AUDI のいずれかを選択し、ENTER を押します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

LAMP メニュー

手動でランプを ON/OFF します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して LAMP と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンで ON/OFF を選択します。
4. ON を選ぶとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンを押して確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

RESE メニュー



リセットメニューです

ALL： 本体の全てのモーターをリセットします。

SCAN：パン/チルトのミラー動作用モーターをリセットします。

COLR：カラー用モーターをリセットします。

GOBO：ゴボ用モーターをリセットします。

SHTR：シャッター用モーターをリセットします。

OTHR：その他のモーターをリセットします。

ALL

全てのモーターをリセットします。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して RESE と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンを押して ALL と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択すると、全てのモーターをリセットします。
5. ENTER ボタンを押して確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

SCAN

パン/チルトミラー用モーターをリセットします。

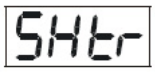
1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して RESE と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンを押して SCAN と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択すると、パン/チルト用モーターをリセットします。
5. ENTER ボタンを押して確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

COLR

カラーホイール用モーターをリセットします。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して RESE と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンを押して CORL と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択すると、カラー用モーターをリセットします。
5. ENTER ボタンを押して確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

SHTR



シャッター/ディマー用モーターをリセットします。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して RESE と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンを押して SHTR と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択すると、シャッター/ディマー用モーターをリセットします。
5. ENTER ボタンを押して確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

OTHR

上記で指定していない、その他のモーターをリセットします。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して RESE と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンを押して OTHR と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択すると、上記で設定していないモーターをリセットします。
5. ENTER ボタンを押して確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

TIME メニュー

LIFE: 灯体の総使用時間を表示します。
LAMP: 電球の総使用時間を表示します。
CLMP: 電球の総使用時間をクリアします。

LIFE

灯体の総使用時間を表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して TIME と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンを押して LIFE と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

LAMP

電球の総使用時間を表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して TIME と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンを押して LAMP と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

CLMP

灯体の総使用時間をクリアします。電球交換を行った後は必ず電球の使用時間をクリアしてください。

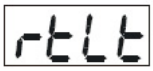
1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して TIME と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンを押して CLMP と表示させ、ENTER ボタンを押します。
4. MODE/ENTER ボタンを押し、ON/OFF と表示させます。
5. UP ボタンで ON を選択すると、電球の総使用時間をクリアします。
6. ENTER ボタンで確定します。
7. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

RPAN メニュー

パン(横動作)が逆方向に動作します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して RPAN と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンで ON を選ぶとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
4. ENTER ボタンを押して確定します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

RTLT メニュー



チルト(縦方向)が逆方向に動作します。

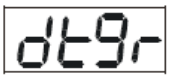
1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して RTLT と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンで ON を選ぶとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
4. ENTER ボタンを押して確定します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

FINE メニュー

動作の解像度を 16bit と 8bit から選択します。16bit モードでの操作中は 14 の DMX チャンネルを使用し、8bit モードでの操作中は 12 の DMX チャンネルを使用します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して FINE と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. UP ボタンで ON を選ぶとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
4. ENTER ボタンを押して確定します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

DEGR メニュー



パンの動作角度を 630°/540°から選択します。

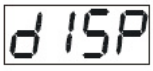
1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して DEGR と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイ上に”630/540”と表示されます。
4. UP/DOWN ボタンで 630°/540°どちらかのパン動作角度を選びます。
5. ENTER ボタンを押して、新しい設定を保存します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

MIC メニュー

内部マイクの感度を調節します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して MIC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイ上に M-XX と表示されます。（XX には 0-99 の数値が入ります）
4. UP/DOWN ボタンでマイク感度を調節します。99 が最も感度が高い状態となります。
5. ENTER ボタンを押して、新しい設定を保存します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

DISPLAY メニュー



オンボードディスプレイの設定をします。

VALU

DMX コンソールを使用して設定した各チャンネルの DMX 値をディスプレイ上に表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して DISP と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. VALU と表示されたら再度 ENTER ボタンを押し、d-00 と表示させます。
4. ENTER ボタンを押して確定します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

D ON

無動作状態が 2 秒続くとディスプレイがオフになります。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して DISP と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. VALU と表示されたら UP ボタンを押して D ON と表示させ、再度 ENTER を押します。
4. UP ボタンで ON を選択するとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

FLIP

ディスプレイの表示を 180 度反転させます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して DISP と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. VALU と表示されたら UP ボタンを押して FLIP と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択するとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

SPEC メニュー

以下の特殊機能の操作を行います。

LAAU： 電球の自動点灯機能をオン/オフにします。
RDMX： DMX コントローラーによって、DMX アドレスの変更を行います。
DLOF： DMX コントローラーによって、電球のオン/オフを切替えます。
DLAY： 電球のディレイ設定を行います。
SPOT： 電球を最適な位置に調整する際使用するスポットのオン/オフを切替えます。
DFSE： 灯体をデフォルト設定に戻します。
FEED： パン/チルトのエラー修正機能を ON/OFF します。
FANS： 内蔵ファンの設定を行います。
VER： ソフトウェアのバージョンを表示します。
ADJU： キャリブレーション調整を行います。

LAAU

デフォルトでは電源をオンにすると自動的に電球が点灯するよう設定されておりますが、その設定をオン/オフします。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して LAAU と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択するとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

RDMX

DMX コントローラーを使って DMX アドレスを遠隔管理します。ここではコントローラー、灯体共に設定する必要があります。デフォルトではオンに設定されています。

灯体の設定

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して RDMX と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択するとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

コントローラーの設定

1. チャンネル 1 の DMX 値を 7 に設定します。
2. チャンネル 2 の DMX 値を 7 か 8 に設定します。7 に設定した場合、スタートアドレスを 1-255 の範囲で設定する事が出来ます。8 に設定した場合はスタートアドレスを 256-511 の範囲で設定する事が出来ます。
3. 使いたいスタートアドレスをチャンネル 3 に設定します。
   例 1:スタートアドレスを 57 に設定したい場合
   チャンネル 1 を 7 に、チャンネル 2 も 7 にそれぞれ設定し、57 を選んでチャンネル 3 に登録します。
   例 2:スタートアドレスを 420 に設定したい場合
   チャンネル 1 を 7 に、チャンネル 2 を 8 にそれぞれ設定し、164 を選んでチャンネル 3 に登録します。(256+164=420)
4. アドレスリセットが完了するまで約 20 秒程度かかります。

DLOF

DMX 信号で電球をコントロールします。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して DLOF と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択するとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

DLAY

電球のディレイ設定を行います。

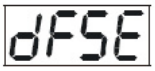
1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して DLAY と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. D-XX と表示されたら UP/DOWN ボタンでディレイタイムを入力します。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

SPOT

ランプを最適な位置に調整します。このモードでは灯体はいかなる操作信号にも反応しません。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して SPOT と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択するとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

DFSE



灯体を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。編集したシーンは削除されます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して DFSE と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択するとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

FEED

パン/チルトの修正機能を ON/OFF します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して FEED と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. UP ボタンで ON を選択するとこの機能を有効にし、OFF を選ぶと無効になります。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

FANS

内蔵されたクーリングファンの設定を行います。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して FANS と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンで HIGH/AUTO モードを選択します。
5. ENTER ボタンで確定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

VER

本体のソフトウェアバージョンを表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して SPEC と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して VER と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイに“V-1.0”、または“V-2.0”や“V-9.9”等のバージョン情報が表示されます。
5. MODE/ENTER”又は“EXIT”を押してメインメニューに戻って下さい。

ADJU

内部メカニズムに微細な狂いが生じた際、各モーターのキャリブレーション調整を行います。この機能はパスワードで保護されています。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP/DOWN ボタンを押して ADJU と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP/DOWN ボタンを押して CODE と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. CXXX と表示されたら、UP/DOWN ボタンを使ってキャリブレーション・パスワードの”C050”を入力します。
5. 正しいパスワードが入力されると”CHXX”と表示されます。XX は灯体のチャンネルを表します。（Design Spot 250 の場合、1-16 となります。）
6. UP/DOWN ボタンを使って、調整したいチャンネルを選択します。
7. XXXX と表示されたら、UP/DOWN ボタンを使って-128 から 127 の間でキャリブレート値を入力します。この数値をスクロールさせると、選択したホイール/モーターが少しずつ調節されます。
8. ENTER ボタンを押して確定し、調節したキャリブレーションを保存します。

EDIT メニュー

コントロールパネル及び外部 DMX コントローラーを使って灯体のメモリー(EEPROM)にプログラムを書き込みます。

STEP(S-01-S-48)： ユーザーが登録可能な 48 ステップの選択を行います。
STXX(SC01-SC48)： 各ステップに登録される 48 シーンの選択を行います。
C-01-C-11: 各シーンのチャンネルを編集します。
TIME： プログラムの総動作時間を設定します。
CEDT： 外部コントローラーを使用してプログラムを編集します。
REC： オートで編集内容をセーブします。
RUN： プログラムのテスト動作を行います。

REC

DMX コントローラーからシーンを読み取り、内蔵メモリーに記録します。一度記録したシーンは外部コントローラー無しで呼び出すことが出来ます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して EDIT と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して REC と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイに RE.XX と表示されます。(XX には保存先のシーンナンバーが入ります)
5. UP/DOWN ボタンで保存先のシーンナンバーを選択します。
6. ENTER ボタンで確定し、シーンをメモリーに保存します。
7. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

SC01

プログラム中の総シーン数を選択します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して EDIT と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して SC01 と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. SC01 と表示され、プログラムの最初のシーンであることを表します。RUN で 48 シーンまで呼び出すことが出来ます。例えば SC05 と入力して RUN 機能を起動させると、EDIT メニューで保存した最初の 5 シーンが再生されます。
5. ENTER ボタンで設定を保存し、MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

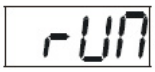
編集方法 1:コントロールボードのみを使用した場合

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って EDIT と表示させ、ENTER ボタンを押して下さい。
3. ディスプレイに SC01 と表示されます。これはプログラムに保存されたシーンナンバーを表し、シーン 01 に編集を加えることを意味します。ENTER ボタンを押し、続いて UP ボタンでシーンナンバーを変更してください。
4. ENTER を押すとディスプレイにチャンネルナンバーが C-1 と表示され、選択されたシーンのチャンネル 1 を編集することが可能になります。ENTER ボタンを押し、続けて UP ボタンでチャンネルナンバーを選択し、ENTER ボタンで決定して下さい。
5. ディスプレイに編集しているチャンネルの DMX 値が 11XX のように表示されます。これはチャンネル 11 の DMX 値が XX であることを示します。
6. UP ボタンで DMX 値を選択して下さい。
7. ENTER ボタンで他のチャンネルの設定を入力して下さい。
8. 5-8 の手順を繰り返し他のチャンネルの DMX 値を設定して下さい。尚、各シーンには最大 15 チャンネル設定することが可能です。
9. 全てのチャンネルが設定されるとディスプレイに TIME と表示され、シーンを動作させる為に必要な時間を表示します。
10. ENTER ボタンを押して時間の設定を行います。ディスプレイに T-XX と表示され、XX に 3 を掛けた数値がシーンを動作する時間になります。例えば“T-02”は 6 秒、また“T-15”は 45 秒を意味します。
11. UP ボタンを使用して時間を設定して下さい。
12. ENTER を押してシーンの設定を保存して下さい。ディスプレイが自動的に次のシーンを表示します。
13. 3-12 を繰り返し、他のシーンを編集して下さい。最大 48 シーンを保存することが可能です。
14. MODE/ESC を押すと編集したシーンを内部メモリーに保存しメインメニューに戻ります。

編集方法 2:外部コントローラーを使用した場合

1. コントローラーの最初のシーンを呼び出します。
2. UP/DOWN ボタンを使って SC01 を選択します。
3. MODE/ESC ボタンを押して、SC01 と表示させます。
4. MODE/ESC ボタンを押して、C-01 と表示させます。
5. UP/DOWN ボタンを押して CEDT を選択します。
6. MODE/ESC ボタンを押すと、OFF と表示されます。
7. UP ボタンを押して、ディスプレイに ON と表示させます。
8. MODE/ESC ボタンを押すと、SC-02 と表示されます。これで最初のシーンのダウンロードが完了したことを意味します。
9. 編集方法 1 のようにステップタイムを設定します。
10. コントローラーの 2 番目のシーンを呼び出します。
11. 5-11 の手順を繰り返し、使用したい全シーンをダウンロードします。
12. MODE/ESC ボタンを押して、メインメニューに戻ります。

RUN

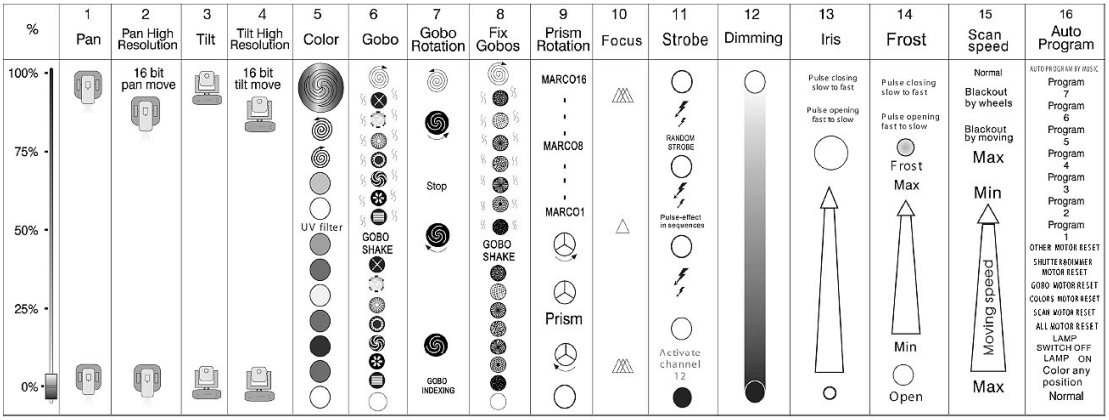
 プログラムのテスト動作を行います。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを押して EDIT と表示させ、ENTER ボタンを押します。
3. 更に UP ボタンを押して RUN と表示させ、再度 ENTER ボタンを押します。
4. AUTO と表示されます。UP ボタンを押すと SOUN と表示されます。どちらか設定したい方を選び ENTER ボタンを押します。
5. 更に UP ボタンを押して、ALON（スタンドアローン・モード）か NAST（マスター/スレーブ・モード）を選択します。
6. ENTER ボタンで確定します。
7. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

DMX チャンネル表

以下のチャートは、16DMX チャンネルのデフォルト・レイアウトです。

8bit モードでは PAN FINE、TILT FINE チャンネルは使用されないので、14 チャンネルとなります。



チャンネル 1： パン動作(最大 630°/540°)

チャンネル 2： 16bit パン動作(PAN FINE)

チャンネル 3： チルト動作(最大 265°)

チャンネル 4： 16bit チルト動作(TILT FINE)

チャンネル 5： カラーホイール

チャンネル 6： 回転ゴボホイール

チャンネル 7： ゴボインデックス、ゴボ回転スピード/回転方向

チャンネル 8： 固定ゴボホイール

チャンネル 9： 3 面プリズムコントロール

チャンネル 10： フォーカスコントロール

チャンネル 11： ストロボ(0-13Hz)、シャッター開閉、ランダムストロボ

チャンネル 12： ディマー

チャンネル 13： アイリス(クローズ→オープン)

チャンネル 14： フロストフィルター(最小→最大)

チャンネル 13： パン/チルト・スピード、ブラックアウト

チャンネル 14： オートプログラム・コントロール、ランプのオン/オフ、モーターリセット

DMX チャンネルの機能と DMX 値

Channel 1　PAN 8bit		
0-255	横軸粗調整	
Channel 2　PAN FINE 16bit		
0-255	横軸微調整	
Channel 3　TILT 8bit		
0-255	縦軸粗調整	
Channel 4　TILT FINE 16bit		
0-255	縦軸微調整	
Channel 5　カラーホイール		
0-13	オープン / ホワイト	
14-27	レッド	
28-41	ブルー	
42-55	グリーン	
56-69	ダークイエロー	
70-83	マゼンダ	
84-97	オレンジ	
98-111	UV フィルター	
112-127	ピンク	
128-187	レインボーエフェクト（FAST→SLOW）	
188-193	回転無し	
194-255	レインボーエフェクト（SLOW→FAST）	
Channel 6　回転ゴボホイール		
0-9	オープン	
10-19	回転ゴボ 1	
20-29	回転ゴボ 2	
30-39	回転ゴボ 3	
40-49	回転ゴボ 4	
50-59	回転ゴボ 5	
60-69	回転ゴボ 6	
70-79	回転ゴボ 7	
80-99	ゴボ 1 シェーク（SLOW→FAST）	
100-119	ゴボ 2 シェーク（SLOW→FAST）	
120-139	ゴボ 3 シェーク（SLOW→FAST）	
140-159	ゴボ 4 シェーク（SLOW→FAST）	

160-179	ゴボ 5 シェーク（SLOW→FAST）	
180-199	ゴボ 6 シェーク（SLOW→FAST）	
200-219	ゴボ 7 シェーク（SLOW→FAST）	
220-255	回転ゴボホイール/時計回り（SLOW→FAST）	
Channel 7　回転ゴボインデックス		
0-127	ゴボインデックス	
128-187	回転ゴボホイール/時計回り（SLOW→FAST）	
188-193	回転無し	
194-255	回転ゴボホイール/反時計回り（SLOW→FAST）	
Channel 8　固定ゴボ		
0-13	オープン	
14-27	ゴボ 1	
28-41	ゴボ 2	
42-55	ゴボ 3	
56-69	ゴボ 4	
70-83	ゴボ 5	
84-97	ゴボ 6	
98-111	ゴボ 7	
112-127	ゴボ 1 シェーク（SLOW→FAST）	
128-143	ゴボ 2 シェーク（SLOW→FAST）	
144-159	ゴボ 3 シェーク（SLOW→FAST）	
160-175	ゴボ 4 シェーク（SLOW→FAST）	
176-191	ゴボ 5 シェーク（SLOW→FAST）	
192-207	ゴボ 6 シェーク（SLOW→FAST）	
208-223	ゴボ 7 シェーク（SLOW→FAST）	
224-255	ゴボホイール回転（SLOW→FAST）	
Channel 9　3 面回転プリズム、プリズム/ゴボマクロ		
0-3	オープン	
4-63	前方回転（FAST→SLOW）	
64-27	回転無し	
68-127	後方回転（SLOW→FAST）	
128-135	マクロ1	
136-143	マクロ2	

144-151	マクロ3	
152-159	マクロ4	
160-167	マクロ5	
168-175	マクロ6	
176-183	マクロ7	
184-191	マクロ8	
192-199	マクロ9	
200-207	マクロ 10	
208-215	マクロ 11	
216-223	マクロ 12	
224-231	マクロ 13	
232-239	マクロ 14	
240-247	マクロ 15	
248-255	マクロ 16	
Channel 10　フォーカス		
0-255	遠方から近距離まで連続調整	
Channel 11　シャッター/ストロボ		
0-31	シャッタークローズ	
32-63	シャッターオープン	
64-95	ストロボエフェクト（SLOW→FAST）	
96-127	シャッターオープン	
128-159	パルスエフェクト	
160-191	シャッターオープン	
192-223	ランダムストロボエフェクト（SLOW→FAST）	
224-255	シャッターオープン	
Channel 12　ディマー		
0-14	シャッタークローズ	
15-255	輝度　0-100%	
Channel 13　アイリス		
0-191	アイリス操作（最大直径→最小直径）	
192-223	クローズパルスエフェクト（FAST→SLOW）	
224-255	オープンパルスエフェクト（SLOW→FAST）	

Channel 14　フロストフィルター		
0-191	フロストフィルター（0%→100%）	
192-223	オープンパルスエフェクト(FAST→SLOW)	
224-255	クローズパルスエフェクト（SLOW→FAST）	
Channel 15　パン/チルト・スピード		
0-4	スピード （MAX）	
5-255	スピード （Max→Min）	
226-235	動作によるブラックアウト	
236-245	ホイールチェンジによるブラックアウト	
246-255	機能無し	
Channel 16　電球オン/オフ、リセット、内部プログラム		
0-19	ノーマルカラーチェンジ（ソリッドカラー）	
20-39	色の分割	
40-59	電球オン	
60-79	電球オフ	
80-84	全モーターリセット	
85-87	スキャンモーターリセット	
88-90	カラーモーターリセット	
91-93	ゴボモーターリセット	
94-96	シャッター/ディマーモーターリセット	
97-99	その他モーターリセット	
100-119	内部プログラム 1	
120-139	内部プログラム 2	
140-159	内部プログラム 3	
160-179	内部プログラム 4	
180-199	内部プログラム 5	
200-219	内部プログラム 6	
220-239	内部プログラム 7	
240-255	オートプログラム	

エラーコード

電源を入れると、灯体は自動的にリセット/テストモードになり、全ての内部モーターを一度ホームポジションにもどします。もし1つ、もしくはそれ以上のモーターに異常が見られた場合、ディスプレイ上に“XXEr”(XX はチャンネルナンバー)というエラーコードが表示されます。例えば“02Er”と表示された場合、チャンネル 2 のモーターに何らかのエラーがあった事を意味します。起動の際に複数のエラーが見つかった場合、全てのチャンネルがディスプレイ上に表示されます。例えばチャンネル 1、チャンネル 2、チャンネル 5 にエラーがあった場合、“01Er”、“02Er”そして“05Er”と順番に 5 回ずつ点滅します。

起動時にエラーが見つかった際は、灯体は自動的に 2 回目のリセットを試み、全てのモーターを再調整してエラーを修正します。2 度目のリセットでもエラーが続いた場合は 3 度目のリセットが試行されます。

3 度目のリセットでもエラーが修正されない場合、灯体は以下の決定をします。

1.) 3 ヶ所以上のエラーがあった場合、灯体は正しく動作することができないので、修理されるまでは自動的にスタンバイモードに切り替わります。
2.) エラーが 3 ヶ所以下の場合、その他の機能は正常に働くので、通常の動作を試行します。モーターのエラー表示はそのままディスプレイ上に残ります。

01Er:パン動作のエラー
起動時、及びリセットコマンド時にヨーク部がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはヨーク部のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーモーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターIC ドライブ不良)表示されます。

03Er:チルト動作のエラー
起動時、及びリセットコマンド時にヘッド部がデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはチルト機構のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーモーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターIC ドライブ不良)表示されます。

05Er:カラーホイールのエラー
起動時、及びリセットコマンド時にカラーホイールがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはカラーホイール用のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか(センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない)、ステッパーモーターに異常がある際に(モーター不良、及び PCB 上のモーターIC ドライブ不良)表示されます。

06Er：回転ゴボホイールのエラー
起動時、及びリセットコマンド時にゴボホイールがデフォルトポジションに位置していません。
このメッセージはゴボホイールのマグネット・インデックス回路が誤動作しているか（センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない）、ステッパーモーターに異常がある際に（モーター不良、及び PCB 上のモーターIC ドライブ不良）表示されます。

07Er：回転ゴボインデックスのエラー
起動時、及びリセットコマンド時にゴボがデフォルトポジションに位置していません。
このメッセージはゴボ位置のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか（センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない）、ステッパーモーターに異常がある際に（モーター不良、及び PCB 上のモーターIC ドライブ不良）表示されます。

08Er：固定ゴボホイールのエラー
起動時、及びリセットコマンド時に固定ゴボホイールがデフォルトポジションに位置していません。
このメッセージは固定ゴボホイールのマグネット・インデックス回路が誤動作しているか（センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない）、ステッパーモーターに異常がある際に（モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良）表示されます。

09Er：プリズムホイールのエラー
起動時、及びリセットコマンド時に回転ゴボモーターがデフォルトポジションに位置していません。
このメッセージはプリズムホイール用のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか（センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない）、ステッパーモーターに異常がある際に（モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良）表示されます。

10Er：フォーカスのエラー
起動時、及びリセットコマンド時にフォーカス用モーターがデフォルトポジションに位置していません。このメッセージはフォーカス機構のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか（センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない）、ステッパーモーターに異常がある際に（モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良）表示されます。

13Er：アイリスのエラー
起動時、及びリセットコマンド時にアイリス用モーターがデフォルトポジションに位置していません。
このメッセージはアイリス機構のマグネット・インデックス回路が誤動作しているか（センサーが正しく働いていない、磁石を感知しない）、ステッパーモーターに異常がある際に（モーター不良、及び PCB 上のドライバー回路不良）表示されます。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。 ＜期間＞内は目安となります。
※ メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

外側のレンズ ＜一週間に一度＞

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。

カラーフィルター ＜一ヶ月に一度＞

■カラーフィルターが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。

ゴボ ＜一ヶ月に一度＞

■埃や汚れが付着しますと出力される模様に影ができます。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアーダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。ベアリング部は耐熱性が高く軟らかいオイル等を塗布して下さい。

ガラス・ゴボ ＜一ヶ月に一度＞

■埃や汚れが付着しますと出力される模様に影ができます。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。ベアリング部は耐熱性が高く軟らかいオイル等を塗布して下さい。

プリズム ＜一ヶ月に一度＞

■プリズムレンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。ベアリング部は耐熱性が高く軟らかいオイル等を塗布して下さい。

ディマー／シャッター ＜一ヶ月に一度＞

■ディマー／シャッターの動作状況を確認する光学センサーに埃が付着すると、正常に動作しなくなる可能性があります。また、モーターにかかる負荷も大きくなる為、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアーダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

内部レンズ ＜一ヶ月に一度＞

■内部レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で埃や汚れを拭き取ってください。

ファンおよび通気孔 ＜一週間に一度＞

■ファンの動作不良、及び通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファン等に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ベース部分やヘッド部分のファン及び通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアーダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

内部各種センサー ＜一ヶ月に一度＞

■温度センサー及び、各部位の動作状況を確認する為のセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアーダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

電球ソケット部分　＜一ヶ月に一度＞

■電球ソケット部分に埃や汚れがつきますと、ショートの恐れがあり、電球が切れやすくなります。

→エアーダスターやブラシで埃を除去してください。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口　＜一ヶ月に一度＞

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアーダスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認下さい。

ネジ　＜三ヶ月に一度＞

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認下さい。

電球　＜一ヶ月に一度＞

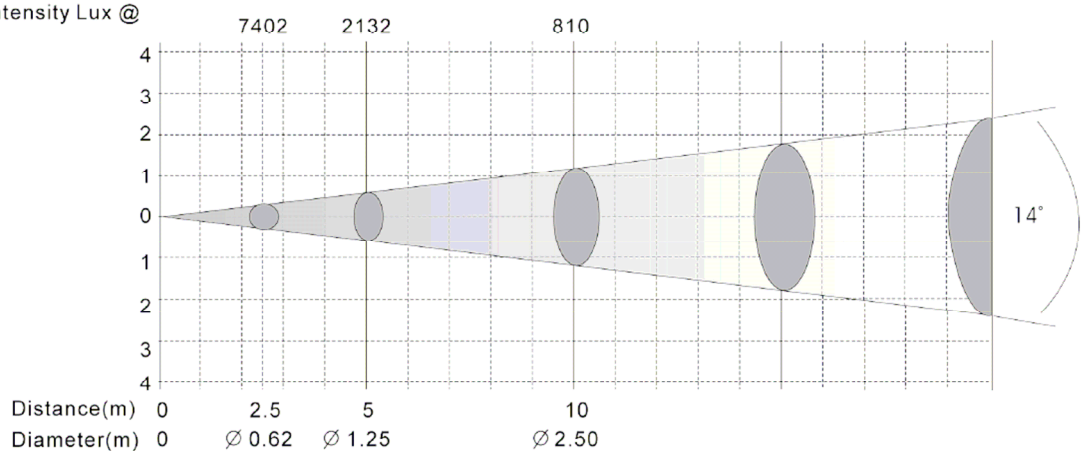
■電球が正しく装着されていないと、埃やゴミが入り、ショートや電球破損の恐れがあります。また、電球はガラス球内部の圧力が高いものがあります。落としたり、物をぶつけたり、傷をつけると破損/破裂の原因となります。

→規定の電球か、口金が錆びていないか、ヒビ等破損箇所がないかご確認下さい。

測光データ

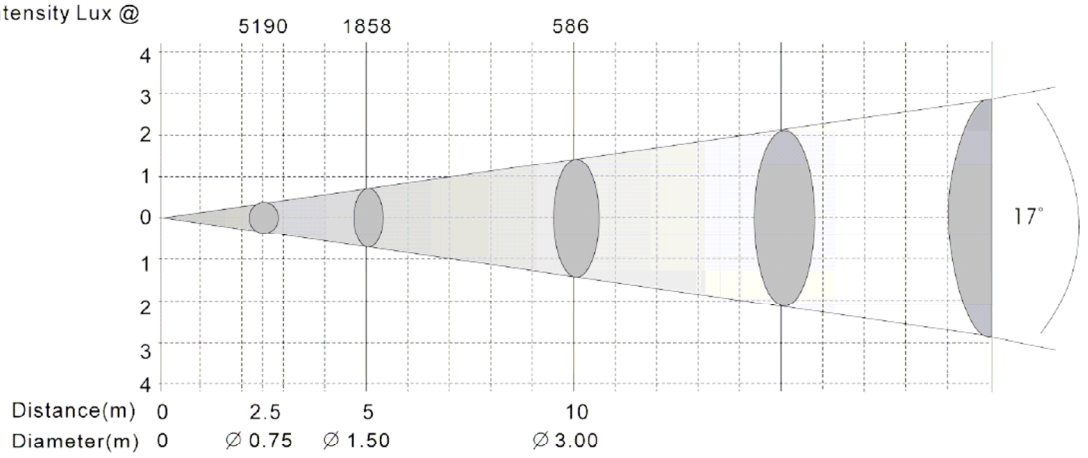
Beam angle 14°

Intensity Lux @



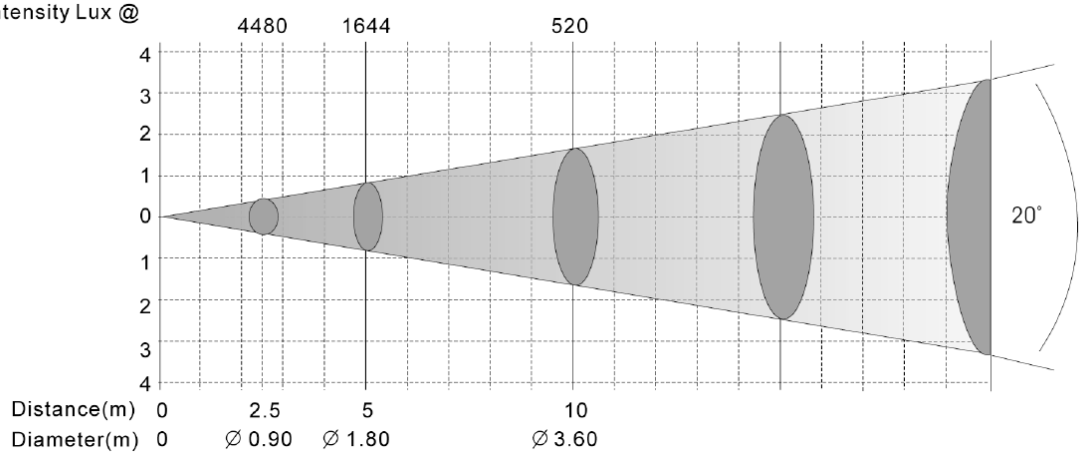
Beam angle 17°

Intensity Lux @



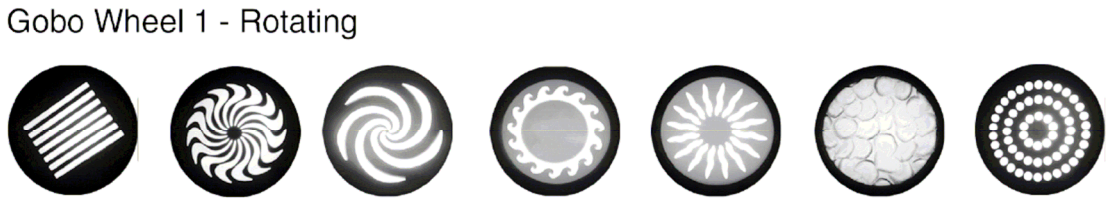
Beam angle 20°

Intensity Lux @



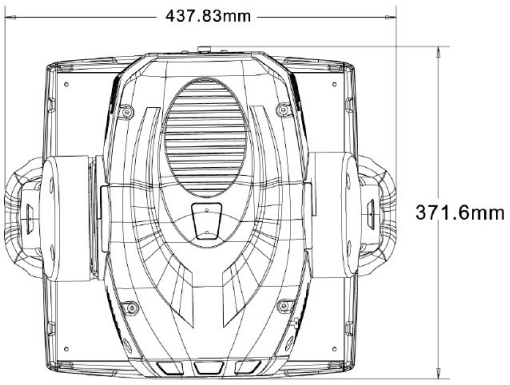
ゴボ

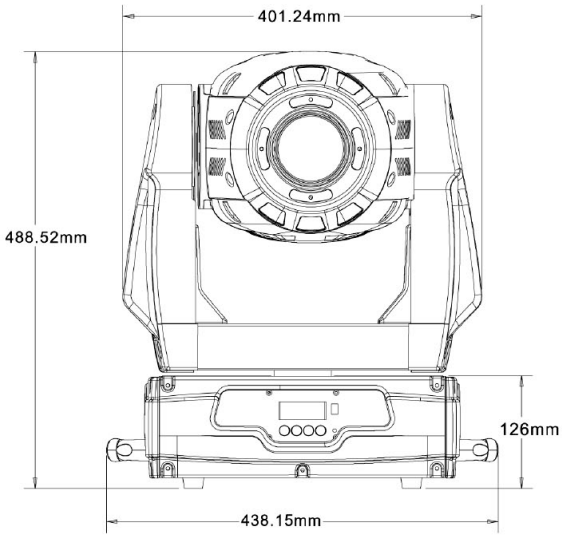
ゴボホイール 1

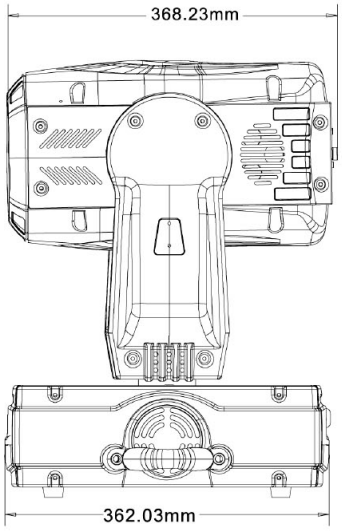


ゴボホイール 2

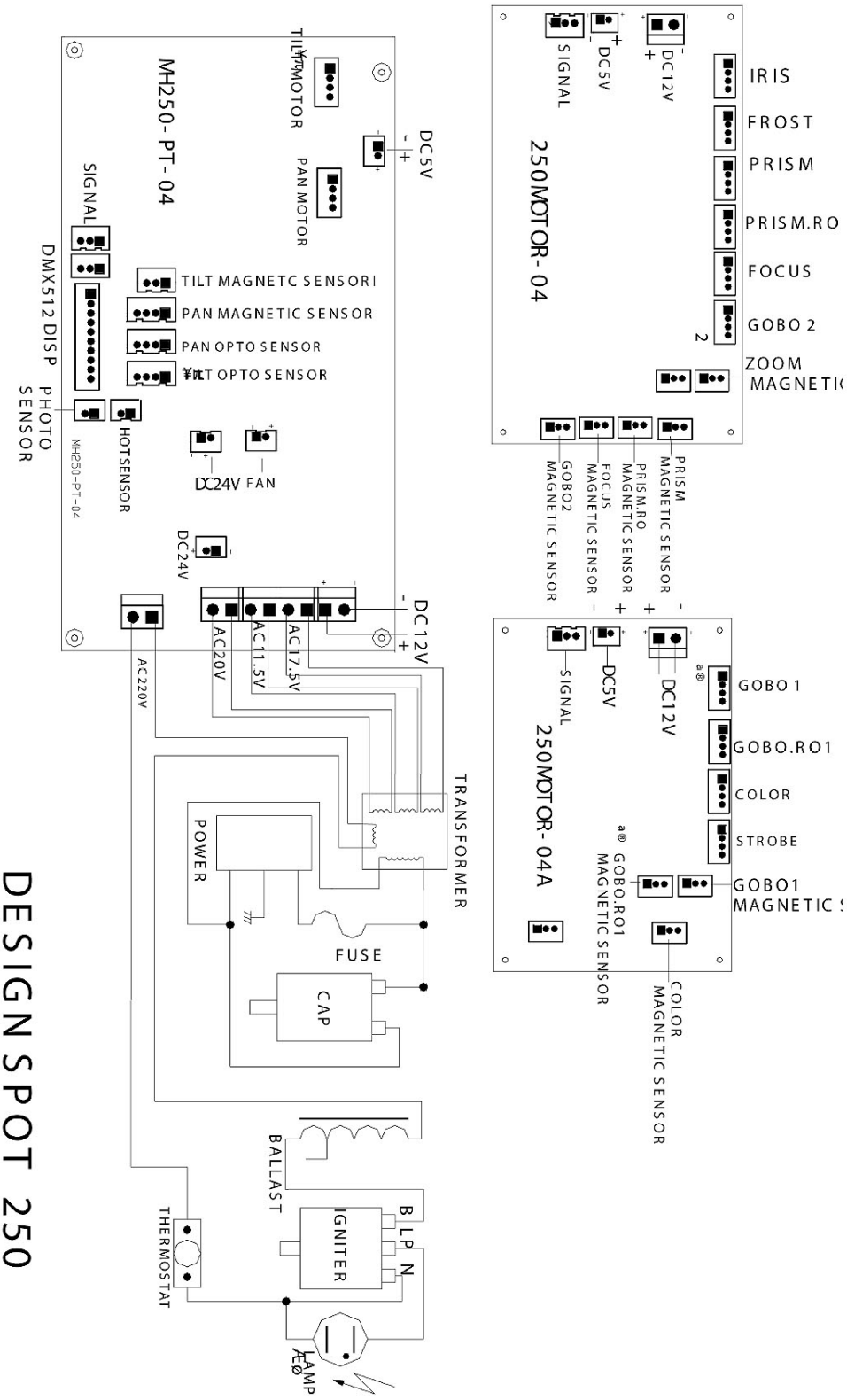
寸法図


437.83mm
371.6mm


401.24mm
488.52mm
126mm
438.15mm


368.23mm
362.03mm

回路図

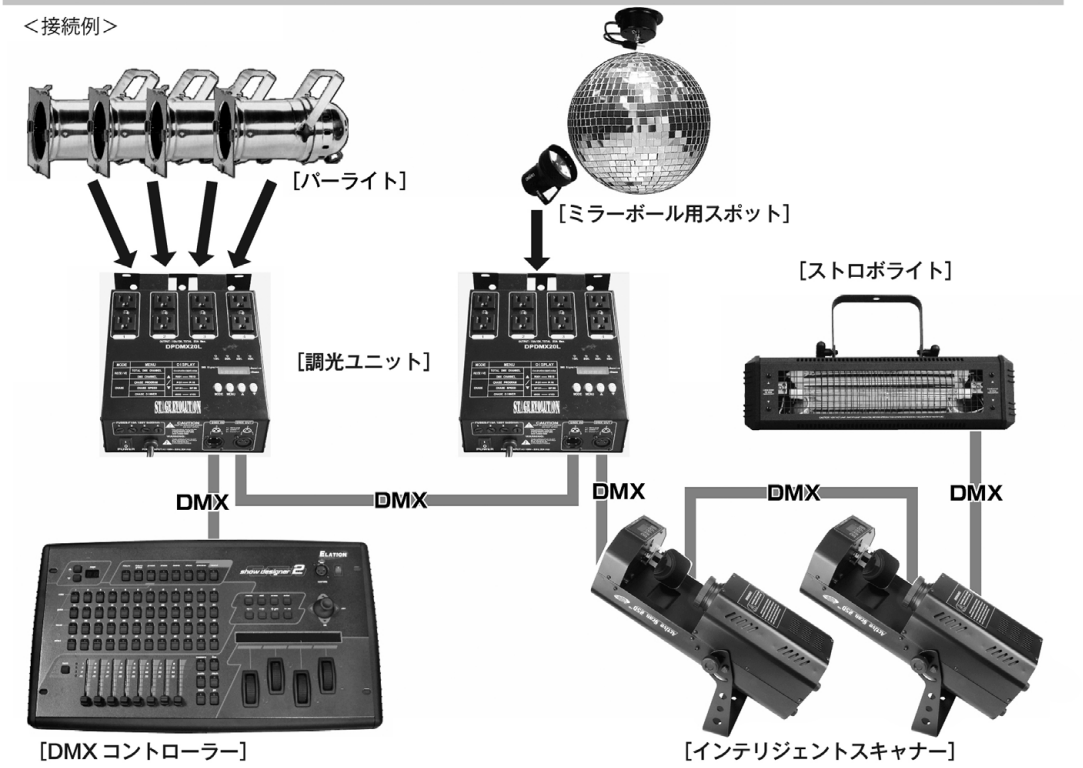

DESIGN SPOT 250
MH250-PT-04
DMX512 DISP
PHOTO SENSOR
SIGNAL
TILT MOTOR
PAN MOTOR
DC5V
TILT MAGNETC SENSORI
PAN MAGNETIC SENSOR
PAN OPTO SENSOR
¥ILT OPTO SENSOR
HOTSENSOR
DC24V FAN
DC24V
AC220V
AC20V
AC11.5V
AC17.5V
DC 12V
TRANSFORMER
POWER
FUSE
CAP
BALLAST
IGNITER
THERMOSTAT
LAMP
250MOTOR-04
IRIS
FROST
PRISM
PRISM.RO
FOCUS
GOBO 2
ZOOM MAGNETI(
SIGNAL
DC5V
DC12V
PRISM MAGNETIC SENSOR
PRISM.RO MAGNETIC SENSOR
FOCUS MAGNETIC SENSOR
GOBO2 MAGNETIC SENSOR
250MOTOR-04A
GOBO 1
GOBO.RO1
COLOR
STROBE
GOBO1 MAGNETIC S
GOBO.RO1 MAGNETIC SENSOR
COLOR MAGNETIC SENSOR

製品仕様

電源	AC100V、50/60Hz
ヒューズ	GMA250V/8A
電球	MSD 250/2
	3000 Hrs/8500°K/18,000lm
光学システム	放物面リフレクター
	17° スタンダードオブジェクティブレンズ （オプション 14°/20°）
	抗反射レンズ
カラー	8 ダイクロフィルター+ホワイト、ハーフカラー対応
ゴボ	ゴボホイール 1:7 枚の回転ゴボ、4 枚のガラス・ゴボ、オープン
	ゴボホイール 2:7 枚の固定ゴボ、オープン
	ゴボ直径 27mm、イメージサイズ 23mm
	ゴボの厚み:ガラスゴボ 1mm / スチール 0.15mm
シャッター/ストロボ/ディマー	速度可変型ストロボエフェクト/ 1-13 回/秒
	ディマー / 0-100%
プリズム	回転式3面プリズム、速度可変型
アイリス	モーター駆動、速度可変型、パルスエフェクト
フォーカス	近距離から遠距離までモーター駆動のフォーカス
DMX	16 チャンネル（16bit/デフォルト）/14 チャンネル（8bit）
	スタンダード DMX-512 3 極 XLR; [+]=Pin3 [-]=Pin2 [Ground]=Pin1
	スタートアドレス [001]
パン/チルト	最大 630°/2.0 秒、解像度 16bit
	最大 265°/1.5 秒、解像度 16bit
外寸/重量	61cm (W) x 46cm (L) x 51cm (H) 23kg

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

＜接続例＞

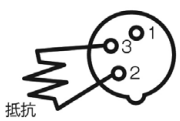


- DMX対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する順番は決まっていませんが、なるべく距離が長くならない様に配線を行って下さい(※)。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64やPAR38等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※ー長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA　DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

ELATION
Professional